

## 燦々便り 53

### 出会い

私がテニスと出会ったのは中学の部活でした。中高一貫の女子校で、きれいなテニスコートがあり、そこは自由をモットーとする校風のせいなのか、すぐそばに住むおじさんが世話をしてくれていました。一般の人も利用できるクラブもあったのです。おじさんはコートの管理をしながら、壁打ちを作ったり、素振りの練習機も工夫してくれたり、訪れたクラブ員を私達の練習台に頼んでくれたり、部活といいながら、自由にやりたいように、私達は練習をしていました。当時、こんなものだと思っていたことを、なんと子供だったのだなあ～と懐かしく思い出します。

そのおじさんは満洲から、家族全てをなくし、たった一人で引き揚げてきたのだよ。と噂で聞きました。でも、私がおじさんから何度も聞いた言葉は「満洲って素晴らしいところだよ！」ばかりでした。

卒業して、50年余りもたって、おじさんが、幼い子と奥様とお母さまを苦しい引き揚げの道中、次々と亡くされ、絶望の逃避行のなか、ようやく、帰ってこられたのだと知りました。このような人はいっぱいいたのですね。このことを私が知ったのは、ここ最近のこと、おじさんも亡くなってつい10年ばかり前のことです。

戦争というものを私は知りません。でも傷跡はあちこちにあったのです。誰も語ろうとしない。多分、聞いても、理解できなかつたかも知れません。経験した方達にとっては、筆舌に尽くしがたい、ということなのでしょう。雑草に覆われた空き地は、家の土台だけがあつたり、白い服を着た傷病兵の方が、募金箱を持って、大阪駅などにいました。しばらくして見なくなりましたが、何度も言いますが、子供だったのだなあ～

どのような思いでおじさんは私達に接してくれていたのだろう。深い悲しみと苦しみを秘めて、その深い心の傷の深さと同じくらい深い愛情を私達に注いでくれたのだ！と、今想います。

なぜなら、未だに私はテニスにかかわっているのだから！

### お知らせ

#### 能勢杯 優勝 NEXT

今年も無事終了しました。  
皆さんはどんな出会いがあったでしょうか？  
ありがとうございました。

#### すばる杯 10月18日(金)

募集締め切りしました

#### 燦々カップ

<b>結果</b>	9月20日(金) 参加 13チーム
優勝	鈴木・森山
準優勝	亀山・藤本
2位の部	1位 鈴木・田口
3位の部	1位 塩見・山田

#### 予定

11月29日(金)  
12月13日(金)  
野洲河川コート  
10時半スタート

#### 申込み受付中

#### びわこ選手権

3月11日(水)  
長浜バイオ大学ドーム  
一般、110歳の部、120歳の部を  
チームとする団体戦を予定しています。  
詳しくは近日中にお知らせします